



平成26年6月15日

2	3	4	5	6	7	8
面	面	面	面	面	面	面
友に音楽祭2014	桜山の宗吾霊神	みんなで仲良く	青年の家だより	スポーツ・情報	川柳・短歌	ひと・こどもの詩
と						声・視点・ペンペン草



# まつかわ百景 ⑧1

## 「名子中央保育園」

果樹園や田んぼに囲まれた穏やかな雰囲気の中で、5月に開園した。

本年度4月より、北小学校に赴任いたしました。地域の皆様には多方面でお世話になりました。ありがとうございます。

以前から、松川町は公民館活動が盛んで、生涯学習やスポーツ活動の指導・支援に積極的に取り組んでいることを存じておりました。また、私は中学校勤務が長

かつたこともあり、バレーボール、卓球、バスケットボール、ソフトテニス等の部活動顧問として、練習試合や中体連の試合を通して、松川町の子どもたちが活躍する姿を見てきました。

子どもたちの活躍の裏には、町全体としてスポーツを推進する物的環境や人的環境が整っていることもあるのだと思います。このような面からも、公民館活動が子どもたちの活動の一役を担っているとも言えるのではないのでしょうか。

地域で育てられた子どもたちが将来、地域のために役立つことができることをこの

## 主張

### 地域で育つ子どもたち

地域でも目指しています。松川町は他の下伊那地区の町村に比べ、公民館活動に携わる人たちの年齢が若いそうです。まさに地域で育てられた子どもが大人になり、地域で役に立っているという、理想的な姿だと思っています。

5月の公民館運営審議会に出させていただいた折、公民館活動の課題について熱心な意見交換がなされていきました。現状に甘んじることなく、公民館活動をさらに活性化するための話し合いが行われたことも、生涯学習としての位置付けができていると実感し、勉強になりました。

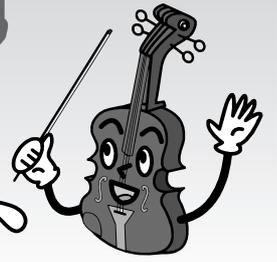
このような地域で勤務させていただくことに感謝し、地域の皆様と健全で心身ともにたくましい子どもを育てるために、精一杯努力して参りたいと思っております。今後とも子どもたちへのご指導・ご支援をよろしく願っています。

松川北小学校校長

下井 早苗

# あげた音楽会

## コミュニティコンサート



飯田市で毎年行なわれているオーケストラと友に音楽祭。今年、4月27日から5月5日まで開催されました。その中のひとつのコンサートであるコミュニティコンサートが、5月3日に松川町民体育館で開かれ400名ほどが集いま



大勢の町民が「友に」参加しまさにコミュニティコンサートとなった

した。コミュニティコンサートは、「家族みんなで楽しめるくつろいだコンサート」として開かれています。今年で6年目のオーケストラと友に音楽祭ですが、松川町でのコンサートは初めてのことです。

演奏したのは、バイオリン・フルート・オーボエ・ピアノで構成される「ひとはな四重奏団」のみなさんです。ひとはな四重奏団は、音楽祭でメインの演奏をされる名古屋フィルハーモニー交響楽団のメンバーで、クラシックやテレビでおなじみの『四季』より「春」、ハンガリー舞曲などが披露されました。曲が終わるたびに会場は大きな拍手でつつまれました。

松川町でのコンサートは、公民館や町内音楽団体などで組織する実行委員会を立ち上げ、ひとはな四重奏の出演・曲目以外は、ステージ構成を全て実行委員会と考え、3月から3回に渡って準備を進めてきました。

本番では最初に、松川町の小中高校生、松川吹奏楽団のみなさんが共演し、歓迎演奏としてサンバ「ブラジル」が軽快に、ダイナミックに披露されました。また最後に、小中高校生、女声コーラ



ひとはな四重奏団のみなさん



あふれんばかりの客席

# みんなできつくり オーケストラと友に音楽祭2014

ス桐、松川コーラスクラブ、うたけん合唱団など60名ほどが合同で、ひとはな四重奏団の演奏にあわせて「変わらないうもの」を合唱しました。歓迎演奏、合同合唱は、みんなが集まったの練習を2回行い、当日を迎えています。

プロのオーケストラと共に奏でるといふ音楽祭のひとつの楽しみを、会場のみならず分ち合っていました。また実行委員会としても、事前準備から始まり、当日の会場づくり、本番と、みんなを取り組んだコンサートとなり、大成功となりました。



プロとの共演を堪能した

## 参加者の感想

飯田で開催された「オーケストラと友に」の関係でやって来た名古屋フィルの先生方に喜ばれる合同演奏・合唱が出来たと思います。

松川で開催するのが決定してから短期間だったにも関わらず事務局始め、関係各位の方々頑張ってくれたからです。

スポーツが盛んな松川町で、音楽に関してはなかなか人が集まらないと思っていたのですが、大勢の方が聞きに来てくれて嬉しかったです。これを機に町全体が音楽に関してもっと盛り上がる事を願います。

松川吹奏楽団

ひとはな4重奏の方又、小学生、中学生、高校生、社会人の皆様等々広い範囲の方々と御一緒させていただきとても良い経験、勉強になりました。同じ町内でも若い学生さん達との合唱の機会が少ないのでとても感動しました。又元気をもらいました。

実行委員の皆様御努力又演奏を聞きに来て下さった方々の御協力のおかげと感謝致します。

とても素晴らしい感動をありがとう御座居ました。

松川コーラスクラブ



超一流の音楽家の演奏を間近に聞けたこと、親しみやすい曲目だったこと、そして、小学生から大人までの合唱と吹奏楽。参加して楽しく聞いて満足のコンサートでした。是非もう一度。

うたけん合唱団

弦楽演奏はあまりきく機会がないので、とても良かった。プロ奏者と一緒にステージに立てて嬉しかった。細部までの心づかいが行きわたった、あったかいコンサートでした。出演者、参加者が一つになれた手作りコンサートでとても良かったです。

女声コーラス桐

プロの方々の生の演奏をあの近さで聴かせていただけて感動しました。あの優しいすてきな音色は会場にいた子どもたちの心にも響いたと思います。

# 自力経済更生に農民道の象徴として勧請 桜山の宗吾霊神

## 養蚕から果樹への精神的支柱



桜山の宗吾霊神堂

昭和11年、桜山では不動尊勧請61年の記念として銅製・3尺3寸の八大童子ハチダイトウジを建立し本堂続きの岩上に安置しましたが、これに合わせて千葉県成田の宗吾霊堂より農業神、佐倉宗五郎の霊（宗吾霊神）を勧請し、霊神堂へ安置しました。農業神、佐倉宗五郎の霊を迎えるには、それなりの

訳があったのです。昭和4年以降の昭和恐慌の時代、国の養蚕農家救済のため様々な施策は功を奏さず、昭和5年から7年までの3年間、国は養蚕応急資金の融資を行いました。各個人に渡る金額はほんの僅かで、抜本的対策にはならず、養蚕農家は困窮を極めました。昭和7年

から18年の12年間、農林省は経済更生運動を所管し、外郭団体である農村経済更生協会を主体として全国的に経済更生運動を展開させました。最初の五カ年は景気対策を目的とする公共事業コウキョウジギヤを行う時局トキバタ匡救キウキウ事業と重なり、世界恐慌以後永く続く不況に對して疲弊した農村を経済的に活性化させる国家

政策の中に位置付けられ、12年の盧溝橋事件を契機とした日中戦争開始以後は、戦争遂行のための経済更生計画へと組み込まれていきました。こうした世情の中、大島村

では昭和6年に窮乏者の救済を考え、不況打開の方策として自力更生計画を立て、果樹の栽培を奨励し、副業研究会を作つて製品を共同販売したり、食糧を増産したりして自給自足の生活を奨励しました。昭和7年は農村更生運動が全国的に展開され、翌8年、大島村では自力経済更生計画の五大目標を立て、その目標の一つに農民道教育の振興を掲げました。

昭和10年5月、大島区会では成田より宗吾霊神を迎えることを決定しました。大島村の経済更生計画平面図の7つの要旨の真つ先に「農民道教育の普及徹底」があり、実習農場を活用して勤労精神を養うとともに、知識技能を修練し、大島村を背負つて立つ人物を養うことが挙げられています。この農民道教育の象徴として農民道の神、宗吾霊神の勧請が決定されたのです。義民として知られた佐倉惣五郎は、四代將軍家綱の時代

に佐倉藩の領民を救うため將軍に直訴し、その罪により磔刑にされた人物で、のち農民道の範としてその御霊は神に崇められ、民衆から多くの崇敬を受けていました。

昭和11年3月10日、大島村は経済更生の成績を上げ近隣の模範であるとして、長野県経済更生基準村に指定されました。この5日後、宗吾霊神の分霊が叶い、5月2日の桜山八十八夜大祭に入仏遷宮式が執り行われました。

ちなみに、大島村自力経済更生のための第一の手段は「果樹栽培」で、この計画が農林省に認められてこの年の7月17日、大島村は国から農村経済更生特別助成村の指定を受けました。大島村では疲弊した養蚕依存の農村経済から脱却すべく、既に数名の先



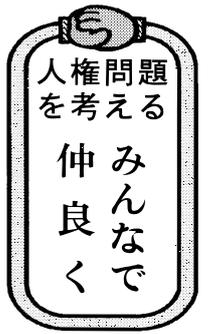
成田の宗吾霊堂

駆者によって実践されていた果樹栽培を自力経済更生事業として、村として積極的に奨励したのです。この当時、上片桐村の更生計画では、「自家用の果物は自分の家で作ろう」という程度のものでした。

今、役場の前に二宮金次郎の碑があります。これは県の基準村指定を記念して住民から寄贈された、「勤儉力行」の象徴である二宮金次郎碑の二代目で、当初のものが昭和12年3月に除幕されたのも同じ背景があったのです。

不安定な養蚕依存の農業から脱却し、果樹栽培へという自力経済更生の展望を描いた大島村は、それぞれの様々な取り組みの中、上片桐・生田との合併と共に今日ある「くだものまち」にまで発展させてきました。この背景、すなわち養蚕から果樹への転換に関する精神的な象徴として宗吾霊神が関わっていたことは、ほとんど知られていません。優良果実として認められつつあった大正15年植栽の二十世紀梨のルーツが千葉県であったことも、偶然とは思われません。

(資料館 酒井幸則)



さそつてくれてありがとう

中央小3年 高はしじゅん平

ぼくは今、スイミングに通つて  
います。なぜかというところ1年生の  
時に友だちの光星くんが、  
「スイミング、楽しいからいっしょ  
に泳ごうよ。」  
と言つて、さそつてくれたからで  
す。

まずは見学をして、おもしろそ  
うだったから、通うことにしまし  
た。さいしょは泳げなかつたけど、  
練習したらクロールで25メートル  
泳げるようになりました。次は50  
メートル泳ぎたいです。

光星くんはさそつてもらつて、  
とてもよかつたです。

はじめて会つた友だち

中央小3年 何原じん九郎

3年2組になった時、ぼくは一  
ばんになりました。その時、同じ一  
ばんに、2年3組だった男の子が  
いました。ぼくは何という人かわ  
かりませんでした。

さいしょは、ぼくの方から  
「いっしょにあそぼうよ。」  
と話しかけました。そしてすぐ  
になかよくなりました。休み時間  
はいっしょにあそびます。休みの日  
は、ぼくがゆうきくんの家にあそ

びに行つて、テレビを見たり、ワ  
ンピースの話をしたりしました。  
4月に友だちになつて、今は大  
親友になりました。

ほいくえんからの友だち

中央小3年 庄子颯人

ほいくえんのとき、はじめて友  
だちができました。こう平くん  
とさつ平くんです。

こう平くんとは、友だちになつ  
てから、いつもあそんでいまし  
た。ときどきけんかをしたけど、すぐ  
になかなおりをしました。いつも  
すな場であそんで、おやつをいっ  
しょに食べて、遠足のときはいっ  
しょに行つていました。

さつ平くんは、とつぜんてん校  
してしまつてかなくなつたけど、  
こう平くんとは同じクラスになつ  
て、毎日サッカーをやつていま

友だちといつて楽しかつたこと

中央小3年 富永暖

わたしには、年中の時からの大  
親友の、もなさんがいます。さいし  
よは、もなさんが上片桐ほいく園か  
ら北名子に来て、わたしから声  
かけて、仲がよくなりました。

それからわたしともなさんは、  
毎日いっしょにあそんだり、話  
したりしました。けんかをしてい  
つの間にかふつうにしゃべつてい  
て、けんかのことをわすれてしま  
うほどでした。

3年になつて、同じクラスにな  
れてとてもうれしいです。これか  
ら大親友でいたいです。

生涯教育のメッカ

松川青年の家だより

その三十二

春の野鳥観察

今年も、裏山の湿地にザゼ  
ンソウの花が開き、松川青年  
の家周辺の森にも南の国から  
夏鳥たちがやってきました。

先頭のツバメに続いてオオ  
ルリ・クロツグミ・ヤブサメ  
などが続々とやってきました。思  
い思いの場所で歌い始め、そ  
れまで静かだった森も急に賑  
やかになります。

ぼぼ夏鳥がそろつた5月10  
日と11日に松川青年の家では  
「春の野鳥観察会」を実施しま  
しました。今回は、朝の鳥の観察  
だけでなく、夜の鳥の観察も  
したいということで1泊2日  
の観察会になりました。



オオルリを見よう

フクロウが怒つた

1日目の午後に集合して、  
はじめに鳥の写真を見たりC

Dで声を聞いたりしてこの地  
域の鳥を知ってもらいました。

その後、巣箱作りをしてから  
夕飯を済ませました。そのこ  
ろになると日が沈んで、外は  
だんだん暗くなってきました。

いよいよ夜の観察の始まりです。  
最初に放送用の外のスピー  
カーから、CDを使用してフ  
クロウの声を数回流しました。  
近くにフクロウがいるとすれ  
ば、スピーカーからの声に反  
応して鳴き返してくるに違  
ありません。

放送を止めて、みんな無言  
で耳を澄ましました。しぼら  
く待ちました。すると遠くか  
ら「ホッ ホッ ホッホッ  
ホ」というかすかな声が聞こ  
えてきました。片桐松川の向  
こう岸の森からのようです。

最初は遠くて聞きとるのも難  
しい小さな声でしたが、その  
うちに、誰もがはつきりと聞  
き取ることができるようにな  
りました。

きつと、相手のフクロウは  
「なんだこの声は。変な奴が入つ  
てきたぞ。ここは俺の土地だ  
からさつさと出ていきやがれ。」  
と怒っているみたいでした。  
私たちはしばらくの間、そん  
なフクロウの気持ち想像し  
ながら聞いていました。

ムササビが飛んだ

フクロウの声を楽しんでい  
ると一人の方が「あつムササビ  
だ。今、ムササビがああ木から  
そつちの木へ飛んだ。」と指さ  
しました。みんな足音を忍ばせ  
て、その木の周りに集まつて、  
次に飛ぶのを待ちました。首が  
痛くなるのをこらえながら待  
っていると、



飛ぶ、ムササビ

「飛んだ。」座布団のような  
四角い影が森の奥に向かって  
飛びました。まばたきやよ  
見をしていた方以外はその姿  
を自分の目で確かめることが  
できました。初めて見た方が  
多かつたので、とても喜んで  
いただきました。

最後に懐中電灯で照らしな  
がら、地面に落ちているムサ  
サビが食べ残したマツボック  
リ(森のエビフライと呼ばれ  
ている)を拾いながら、ムササ  
ビの観察を終わりにしました。  
(この続きは次号で)



# 初夏の風を感じて

## スポーツ

### 諏訪湖少年錬成大会

5月11日(日)に諏訪湖少年錬成大会が開催されました。結果は次のとおり。

高学年の部  
松川剣道クラブA 第3位

- 先鋒 加賀田 穂
- 次鋒 平島 颯人
- 中堅 荒川 想太
- 副将 長砂 秀飛
- 大将 水野 佐映

### 第29回ゲートボール県選手権大会下伊那支部予選会

5月18日(日)に下條村屋内ゲートボール場にて20チームが参加してゲートボール県選手権大会の下伊那支部予選会が開催されました。結果は次のとおり。

松川チーム 第4位

この結果により松川チームは南信大会への出場権を獲得されました。



### 第32回飯伊年金受給者協会ゲートボール大会

5月24日(土)に第32回飯伊年金受給者協会ゲートボール大会が開催されました。結果は次のとおり。

松川チーム 準優勝

### 暮らしの知識を学ぶ講座 防災を学ぶ①



日時：7月29日(火) 19：00～

場所：中央公民館

講師：飯田市危機管理・交通安全対策室 防災係長 後藤武志 氏

30年以内に松川町は震度6弱の地震がくるかもしれないと予測されています。今、自分たちにできることは何かを2回の講座で学習しながら実践につなげていきます。

受講していただくには、お申し込みが必要です。  
お申込み・お問合せ先：中央公民館 電話36-2622

## 毎月第3日曜日は 家族ふれあう 「家庭の日」

世の仕組み変わってくれば調えし  
数の食器が負となりてゆく

かすか鳴る携帯音に行きつけば  
昨日の続き手提げのなかに

谷間に架かる生活の橋  
渡り来る車待ちつつ譲り合う

よく茶柱の立ちて匂いぬ  
手揉みなる母の新茶は粗粗と

みなもの記憶のなかに残りゆく  
われと孫とは違うふるさと

下平 曜子(宮坂)

### 短歌

世の中が秘密ひみつで暗くなる  
欲を捨て気楽に生きる八十路坂

縁あった人の支えで今がある

二百万民を犠牲に得た平和

いろいろと物議を醸す自衛権

下平 睦夫(清北)

### 川柳

### ひとひと 男と女いきいき講座 草かんむり～男と女はこんな毎日～

日時：7月19日(土) 13：30～15：00

場所：町民体育館 トレーニングルーム(または体力相談室)

講師：草かんむり

(パティシエ：高橋義明 氏・タレント：朝生つぐみ 氏)

会費：500円

阿南町を中心に活動している「草かんむり」のお2人をお招きします。

昨年11月に発表した甘口味噌の生キャラメルもなか「おみそめる」が県知事賞を受賞し、話題になりました。

スペシャルティ珈琲と草かんむりのお菓子を楽しみながらお話を聞きます。女性はもちろんですが、男性の方もぜひ気軽にご参加ください。

受講していただくには、お申し込みと会費が必要です。  
お申込み・お問合せ先：中央公民館 電話36-2622

# 人と人をつなぐ仕事

社会教育指導員 村松 浩子さん

元々は松川町の出身で、縁あって4月から社会教育指導員としてお勤めの村松浩子さん。第一印象は、元気という言葉は、村松さんのためにあるのではないかと思うほど、活発な女性でした。

社会教育指導員という肩書を聞くとなんだか堅いイメージを想像してしまう方も多いかと思いますが、実際は違います。やわらかい性格なので住民の

みなさんと、話し、聞き、助けてもらいながら、スポンジのように吸収していきたいと抱負を語ってくださいました。社会教育指導員として、公民館活動に携わるようになってから知ることも多く、逆に周知する立場になった時に公民館活動を知らない人の気



## たくさんの子どもと

### 触れ合える場所

図書館司書 中平 佐知子さん

4月から松川町図書館の司書としてお勤めの中平佐知子さん。取材当日は、突然の雷雨による停電にも関わらず落ち着いて応対していただいた事が印象的でした。

司書のお仕事はというと、本の整理、貸出、読み聞かせと様々です。

本を読むのが好きだという中平さんは、以前は高森町の図書館にお勤めだったので、松川町

図書館の印象を聞いてみると、

小学校の横にあるという立地条件もあり、子ども利用が多いとおっしゃっていました。

多くの子ども達と触れ合う中で松川町を知る機会としていけたらと抱負を語っていただきました。

電子書籍など本に触れる機会も様々な近頃ですが、読書の秋



持ちが分かるので、これからの活動に生かしていけると話していただきました。

公民館事業を通して人と人とを結ぶ役割を担う村松さんに公民館を訪れた際には、是非とも気軽に声をかけてください。

と言わず、梅雨の雨音を聞きながら、図書館で子どもものころに、読んでもらった思い出の一冊に実際に触れて懐かしむのも良いかもしれません。



### おもしろいこと

東小6年 加賀田 穂

ふわあ〜 まぶしい  
おーい 朝だぞ〜  
おーい 水あそびの時間  
はまだか〜  
ひちゃ ひちゃ ひちゃ ひちゃ  
朝日の下での水あびは  
この世で一番 気持ちいい  
今度は昼ねの時間か?  
ほかほか ほかほか  
おひさまの光をあびての昼ねは  
これまた幸せ 気持ちいい  
うん うん  
よきよきよき よきよきよき  
ふつ〜 何だか体がスルスルする  
いっぱい光と水で  
背がのびて 見えるけしきが  
変わったぞ  
ばっ ばっばっばっ  
花がさいたま 見ておくれ  
さあ これからだ まっぴんぱん

### 楽しいな事

東小6年 松下 陽佳

楽しいな事は修学旅行ー  
その中の一つ、それは三人でねる時だ  
ベットに入って三人でいろんな話を  
したい  
しかし注意しなければならぬ事がある  
それはかへがつすいといつ事だ  
だからあんまり大きな声はあけられない  
そのためには穂さんに「チヨ」チヨ  
をするのはやめた方がいい  
それにあんまりさわぐ事が出来ない  
から  
マフマフ投げをするのもやめた方がいい  
ベットを「ラン」ポリンがわりにして  
「ジャン」ジャン飛ひはねる事もやめた  
方がいい  
あと穂さんをいすにすわらせるとも  
やめた方がいい  
いすをゆらゆらさせると後で  
「ドーン」ドーンと返る時きまつてる  
からだ  
最後に平松先生が見回りに来た時は  
しゃべるのをやめた方がいい  
先生がおこつたらホテルのお客さん  
がみんな起きる時きまつてるからだ  
注意しなければならぬ事はたくさん  
あるけれど  
私にとってから修学旅行が楽しいな



### まちの石仏 ③ 「馬頭観音②」(中山ネズミ尾)

家畜の守り神、道中の安全を祈る神として祀られている馬頭観音。馬の姿そのものが祀られているものは、非常に珍しい。



# 声

## 買せよ古今亭菊生を聞いて

古町 草田 和英

古町ふれあいサロンの会の方に誘われて「松川寄席」に参加しました。菊生師匠が高座に上がるや「待ってました。」の掛声で気持ち良くスタート。今から350年程前に、お寺の和尚さんが法話だけでは退屈するので合間に小話を入れたのが落語の始まりだそうです。小話を3つ程披露していただきました。その1、「隣の家に困りが出来たってねえ。」に



観客全員で「へえ。」そのあと2席。吉原一の花魁と美男の丁稚との人情話は花魁の表情と話術が見事でした。次回は更に腕をあげた高座が期待できそうです。

## 名子の宮澤昭十四

名子原 宮澤昭十四



去る5月24日、中央公民館に於いて高齢者講習の「まつかわ寄席」が開かれると誘われ、聞きに行きました。

出演の古今亭菊生さんは、お父さんが二代目古今亭圓菊師匠（生前は落語協会理事や相談役を歴任）という恵まれた環境の中で厳しく修行を積まれ、古典の正統落語家として将来を嘱望されているとの事でした。  
出陣子の鉄道唱歌に乗って高座に登壇するやいなや、  
○「ブーン、ブーン、ブーン  
…  
△「五月蠅い（ウルサイ）!!  
○「ハイ」…  
といった軽妙洒落な話術でもって早速、聞き手の心を掴んでしまいます。これも5月公演

に因んだマクラの小話で、漢字で書かないと分からないネタを、何気なく演ずるあたりは流石だなと感心してしまいます。ワハハハ、ワハハハ腹を抱えてい間に持ち時間の一時半がたちまち過ぎてしまい、後はさすが軽く軽やかな気分で家路につくことができました。  
折角の企画なのに、時節柄空席も目立ち、本当にもったいない事でした。落語に限らず、どんな芸能にも言えることですが、役者を生かすも殺すも客数次第なのです。松川町に所縁のある話家に大成してもらおう為に、是非とも次回公演には町を挙げて、多勢で押し掛け、聞いてあげたいと思います。それではこの辺りで「おあとがよろしいように…。」

## 2024年

今年度の公民館事業などを確認する公民館年始総会が、5月8日（木）に中央公民館で開かれました。松川町公民館事務局・本館部員、各地区公民館のみなさんが集まり、それぞれの計画を発表しました。長野県は、全国でもまれな公民館の数があり、最も歴史があり、最も盛んであるといわれます。公民館は住民主体のものであり、住民の学習・活動・団結など、幅広い意義を持っています。しかし、時代の流れとともに住民の意識も変わり、公民館のあり方も問われる時代になっていきます。そのような中でも、住民の生活向上には公民館の持つチカラは大きなものです。今年度も、本館・地区館ともに意義のある公民館を目指して事業を計画し活動していきます。

(光澤正之)

公民館報  
「まつかわ」  
第 608 号  
平成26年6月15日  
発行所 松川町公民館  
責任者 矢澤 登部  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)